



第222号
令和元年8月1日
川内村議会事務局
TEL 0240-38-3803
FAX 0240-38-2116
〒979-1292
双葉郡川内村
大字上川内字早渡11-24

題字：川内村中学校2年 渡邊 愛幸さん（作成時：川内村小学校6年）



モリアオガエルは、梅雨入りから10日間程で水辺の木枝に泡状に包まれた卵を産み、その後15日程でオタマジャクシになります。今年は100個以上の卵が確認されました。
40～50日目頃までは、尾のある小蛙を目にすることが出来ます。

▲平伏沼 モリアオガエルの産卵

目次

| | |
|--------------|------|
| 令和元年度6月定例議会 | P 2 |
| 一般質問5議員登壇 | P 4 |
| 「ふるさと川内への想い」 | P 11 |
| 請願と陳情の方法について | P 12 |

次の定例議会は、
9月に開催されます

お気軽に傍聴ください。(定員は30名です)

◎議会を傍聴するときは、次のことを守ってください。

議員の発言を批判したり、議事を妨害しない。

帽子、コートなどを着用したり、かさ、カメラ、録音機などを持ち込まない。

*傍聴希望の方は、議会事務局へお申し出ください。



久保田裕樹 議員

根古屋橋の交通規制期間及び竣工について

質

根古屋橋の架け替え工事が住民から遅延しているのではないかと心配する声があり、工事完成期日等の情報が錯そうしている状況であると考えられます。又、この道路を利用する人で特に行政第6区及び第7区の住民は、迂回路を通ることを余儀なくされ、生活に大変、支障をきたしていると推察致します。一日でも早い開通を望みますが、先の行政懇談会等で説明の通り本年8月で開通するのか経過の説明と今後

の予定を伺います。

答

根古屋橋の交通規制期間及び竣工については、「ふくしま復興再生道路」に位置づけられ、幅員狭小や道路の屈曲を解消し、安全で円滑な交通を確保するため、福島県が国道399号線に架かる根古屋橋の橋梁整備を行うものであります。工事は、下部工と上部工に分けられ、下部工は、平成29年3月から平成31年3月まで、上部工は、平成31年1月から令和元年8月までの工程で工事が進められております。

工の完成時期が遅れ、上部工桁製作着手に期間を要し、下部工工事は、令和元年6月まで工程を延長し、上部工は、かわうち広報4月号でもお知らせしましたように、令和元年8月までの工程でありましたが、現在、通行止め解除時期は、不透明な状況との報告を受けております。

また、県の架け替え工事が完了し、通行止めが解除された後も、農業集落排水管の新根古屋橋への添架工事を村が発注する計画であり、その工事に伴い、再度約2週間程度の通行規制（通行止め）が生じるため、この工事も含め、一連の通行規制の中での工事実施を含め協議する予定です。

工事を進めていく中で、既設橋台の形状が想定より深かったため、仮設構造や橋台工の施工方法に変更が必要となったことや幹線光ケーブルの移転に不測の日数を要したことから、下部

このような状況を踏まえ、村としましては、平成30年1月から、すでに1年5か月になる通行止めは、議員ご推察の通り、村民生活に多大なご不便をおかけしているところですので、その規制期間が一日でも早く解除されるよう要望するとともに、

ここが聞きたい

議員5名が登場

質

かわうちワインの進捗状況について
東京オリンピックも来年に控え、かわうちワインの進捗状況を伺います。

答

川内ワインの進捗状況について であります。第2回定例議会におきまして、答弁させていただきましたが、改めて村の考え方についてお答えいたします。ワイン事業につきましては、地元の施設において地元産のブドウからワインを作るといふ事は、地方創生そのものであり、新たな産業の育成、震災・原発からの復興と住民帰

ここが聞きたい 議員5名が登場

還、地域振興に寄与するものと考えております。また、施設の整備等については、今年度予算にも計上しておりますが、福島再生加速化交付金を活用して整備するため、現在、福島県及び東北農政局と協議を進めている最中であります。

今後、交付金を活用して事業を行うことから村主導で、かわうちワイン株式会社とも連携しながら、施設等の整備を進めてまいります。

また、今年の秋にはブドウの収穫が見込まれることが、かわうちワイン株式会社から情報として入っておりますので、委託醸造や原料としての販売について、会社と協議しながら進めてまいりたいと考えております。



新妻 幸子議員

かわうちの湯源泉整備工事について

質

かわうちの湯源泉整備工事について伺います。源泉湯量減少の為、湯量及び湯温の確保を図る目的で実施してきた工事でありましたが、掘削深度を当初の契約通り掘削深度を2メートルまで延長するよう31年3月29日臨時議会において31年6月29日まで延期する変更契約の議決が有りしました。その件につき令和元年5月17日臨時議会において議案第44号工事請負変更契約締結についての説明がありました。工期延長に伴う人件費の増加、産業廃

棄物等の増加により、工事請負額で3千885万円を増額とする変更契約に関する件につき議会の議決を求められましたが否決されました。
この件につきその後の経過についての説明を求めます。

答

かわうちの湯源泉整備工事について でありますが、令和元年5月17日開催の第3回議会臨時会におきまして、議案第44号工事請負変更契約の締結について、提出させていただきましたが、ご審議賜りました。ご理解が得られなかったものであります。その結果を真摯に受け止めてさせていただきます、変更部分の工事内容を再精査して、算定しなおしましたので、今回の定例会に再度ご提案させていただきます。よろしくお願いいたします。ところであります。



坪井 利之議員

いわなの郷再開発基本計画について

質

今年春の大型連休で川内に帰郷または遊びに来ていた方々から川内村にもっと子供を遊ばせる場所があると良いのにとの意見を数多く頂きました。いわなの郷再開発基本計画にあった遊具一体の複合型アスレチックは今後の魅力ある村づくりに必要なものだと考えますが、村の対応を伺います。

答

この事業は、地方創生加速化交付金を活用して、事業計画策定調査業務を委託実施しております。業務目的としては、東日本大震災及び原子力発電所事故の影響から、人口が減少する危機的状況にあり、観光分野における交流

人口の拡大を図ることが、今後の重要な課題であったことから、年間3万人の重要な資源である「いわなの郷」を、現在の体験型から、滞在型に移行する目的で計画を策定したものであります。計画には、幼児や子供が遊べるフィールドアスレチックゾーンの設置が盛り込まれております。この施設については、子ども元気復活活性化交付金の活用を念頭に進めているところですが、この事業の採択が厳しい状況であり、今後も補助事業などの財源確保を検討してまいります。

かわうちワイン推進事業について

質

川内村は震災復興及び地方創生の取り組みとして、地域が一体となり、ワインプロジェクトを推進する為に

川内ワイン株式会社を設立しました。かわうちワイン株式会社の川内で収穫したブドウを川内で醸造し世界品質のワインを生産するとの理念に賛同した第一行政区の皆さんや全国から来て頂いているボランティアの方たちの協力により醸造用のブドウが順調に生育しております。しかし、かわうちワイン株式会社の理念と村の意向に隔たりが出てきているように見られます。これまで、会社の理念に賛同してきた第一行政区の区民の方やボランティアの方々のかわうちワイン株式会社の理念に賛同する思いに対して今後の村の対応を伺います。

答

かわうちワイン推進事業について でありませう。会社の理念と村の考え方に隔たりができていますように見ら

れる、とのことではありますが、「世界に誇れるかわうちワインを目指す。」ことは一致しておりますので、会社と村も理念は同じであり、隔たりはないと考えております。村は、震災・原発事故の被災地から一日も早い脱却を図るため、新たな産業の育成の一つとしてワイン事業に取り組んできました。農業としてのワイン造りを地域に根付かせることによって、耕作放棄地や荒廃した農地を美しくよみがえらせ、田舎の原風景を活かした持続的なライフスタイルの実現を推進していきたいと考えております。

久保田議員からの質問でも申し上げましたが、今後、具現化に向け交付金を活用して事業を行うことから村主導で、かわうちワイン株式会社とも連携しながら、施設等の整備を進めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



志田 篤 議員

質

川内村ワイン株式会社について

平成31年度、ワイン醸造に関する計画も予算化され、ワイン生産へ向けて村内外の期待が高まるところであります。その川内村ワイン株式会社の下記の件について村長の所見を伺います。

1. 川内村ワイン株式会社の目的であるワイン生産への完成に向けて、事業計画が順調に実施されているのか、進捗状況について村長の所見を伺います。
2. ワイン醸造所の計画、予算化されましたが、財源は確保できたのでしょうか。又、建設計画についての進捗状況について村長の所見を伺います。
3. 川内村ワイン株式会社の役員の変更はあるのか。村長の所見を伺います。

ここが聞きたい

議員5名が登壇

ここが聞きたい 議員5名が登場

答

1点目のワイン事業の進捗状況であります。久保田議員のご質問でも答弁したとおりであります。震災復興と新たな産業の創出、そして地方創生の取組みとしての交流・関係人口の増大を図るなどの目的のため、ワイン用ブドウ、主にシャルドネ、メルロー、カベルネ、ソーヴィニオンンの栽培にエネルギーを費やしてきました。今年の秋には、ブドウが収穫される見込みがあり、収穫されたブドウは醸造所が整備されるまで、委託醸造や原料としての販売について、会社と協議しながら進めてまいりたいと考えているところであります。

2点目の醸造施設整備にかかる財源の確保について でありますが、施設整備につきましても、福島再生加速化交付金を活用すべく東北農政局及び福島県との協議を進めているところであります。ただ、加速化交付金での醸造施設の建設は、過去の例がないこともあって、協議の過程で国や県から指摘のあった課題について、現在整理を行っているところであります。早急に課題の整理を行い、加速化交付金の申請が認められるよう進めていきたいと考えております。

3点目の会社役員の変更についてであります。会社の役員任期は2年であり、今年7月末に任期が満了いたします。村も株主として会社役員を選任につきましても、責任がございまして、会社役員の人事に関しましては、かわうちワイン株式会社内部の問題であると承知しておりますので、ご理解賜いますようお願い申し上げます。



高野 政義 議員

防災訓練の実施について

質

近年、全国各地で洪水などの災害が、頻発・激甚化していることや、東日本大震災と原発事故の教訓を踏まえ災害時における初動体制を高めるために、防災訓練を実施すべきと思うが、村長の考えを伺いします。

答

防災訓練の実施について であります。これまで本村で行われた防災に関する訓練は、平成18年に「相双地方総合防災訓練」、平成26年には「原子力防災訓練」で住民避難訓練を実施しております。また、今年2月には全職員を対象に、抜き打ち型の非常招集訓練を実施し、災害発生時における各担当部署の初動体制につ

いて再確認を行い、3月には複合施設ゆふねにおいて、災害時要援護者の避難先となる、福祉避難所の開設訓練を実施したところであります。

住民参加による防災訓練につきましては、災害時に適切に行動できるよう実践的な訓練を行っておくことが重要でありますので、今後、県と協議しながら実施に向けて検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



渡邊一夫川内村議会議長 福島県町村議会議長会 会長に就任



令和元年6月3日に開催された福島県町村議会議長会総会において、会長に選出されました。任期は2年間となります。

福島県内、町村議会の取りまとめ役として、重責を担っていただきます。

主 な 役 職

| | | |
|-------------------|---|--------|
| 福島県町村議会議長会 | 会 | 長 |
| 双葉地方町村議会議長会 | 会 | 長 |
| 全国町村議会議長会 | 理 | 事 |
| 公益財団法人 福島県市町村振興協会 | 理 | 事 等 |

「ふるさと川内への想い」

シリーズ
05



秋元 尚 さん

プロフィール

昭和40年8月 上川内字早渡生まれ
川内2小、川内中、原町高校、中央大学卒
平成元年4月 株式会社リクルート入社
平成9年11月 プルデンシャル生命保険株式会社入社 現在に至る
埼玉県 越谷市在住
妻、子供1人の3人家族
趣味 ゴルフ、旅行、読書、駅伝観戦

私は現在53歳です。

高校から下宿生活をしていましたので、川内を離れて40年近くになりますが、川内への想いは未だ消えることなく、深く私に根付いています。

両親と姉が住んでいるということもあり、私にとってまさに「ふるさと」。何故かいつも帰りたくなる「故郷」。なくてはならない場所です。

子供の頃を思い返すと楽しかった事ばかりが思い出されます。日常的なぺった、ビー玉遊び、春

は桜、たらの芽採り、夏の川遊びにはかぶと虫、クワガタ採集、秋には紅葉、キノコ採り、冬は雪遊び、いつも自然がそばにありました。色々なテーマパークや行楽地へも連れて行ってもらっていたのに、楽しくてたまらなかった思い出は全部が川内でのことです。

家族や友人、近所の方達と毎日笑って時には泣いて、けんかをしたり、悪さをした時には おもいきり怒られたり。今思うと、

とても恵まれた環境の中で育てられたんだなと感謝の気持ちで一杯になります。そういった川内での生活が、風邪も引かない丈夫な身体や、30年以上営業マンとしてやれている心の強さをも培ってくれたんだと、私の核を作ってくれたのだと思います。

51歳の時に初めて子供を授かりました。

そんな、私にとって大切な川内で、息子をたくさん自然に触れさせてあげたい。私が楽しかった山遊びや川遊びを体験させてあげたい。強くそう願うようになりました。

原発事故の影響でその願いは叶えることが出来ず本当に残念に思っております。

この度たまたま縁があり、「ふる里かわうち会」のメンバーに入れて頂きましたので、微力ながらこれからの川内の復興と発展に、尽力していきたいと思っております。

私の大好きな川内を、今の、そして未来の子供たちのために。

